

- 嘉麻市では、森林所有者の高齢化や後継者不足等に伴い、竹林の拡大や里山林の荒廃が問題になっている。
- このため、「嘉麻市放置竹林対策事業費補助金」の交付を実施。

## □ 事業内容

竹林所有者等が行う竹林の整備に要する費用を助成。  
 ※事業者へ整備を委託した場合は、40万円を上限に助成。  
 ※補助対象者が自ら整備を行った場合は、別に定める標準額に  
 実施面積を乗じた額を助成。

【事業費】 3,684千円(うち譲与税3,684千円)

【実績】 10件(うち1件は自ら整備を実施)

## □ 取組の背景

- ・森林所有者の高齢化や後継者不足等に伴って、宅地や農地等に隣接した山林の手入れが行き届かず、竹林が拡大している。
- ・こうした山林の竹が、大雨や台風、降雪の後に倒れ、隣接地に被害をもたらしている。
- ・竹の伐採、処分には費用を要するため、所有者等による整備がなかなか進まない。



(着工前)



(作業中)



(竣工)

## □ 工夫・留意した点

- ・人家、農地(耕作中のものに限る)及び公共建築物等に隣接した竹林を対象とした。
- ・申請者を個人に限定せず、自治会等による整備にも助成。
- ・一定の面積を整備するよう、間伐で500㎡以上、もしくは皆伐で200㎡以上の整備面積を設定。
- ・的確な整備のため、伐採後の竹は、粉碎もしくは撤去を行うようにしている。
- ・整備の効果が維持されるよう、実施者との間に10年間の協定を結び、適正な管理を約束。

## □ 取組の効果

- ・事業開始から2年で、14件約0.3haの竹林を整備(皆伐)。
- ・伐採後の竹を粉碎・撤去することで、景観も向上し、事業の効果が良く分かるようになっている。
- ・徐々に事業が周知され、予定の事業枠を超える申し込みが来るようになった。

## ◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：23,562千円	②私有林人工林面積(※1)：4,399ha
③林野率(※1)：57.9%	④人口(※2)：35,473人
	⑤林業就業者数(※2)：42人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より